

精密機械工学専攻修士課程モデルプラン

ただし他にもいろいろとりそろえております

[1年目]

4月：履修届を指導教員と相談 研究テーマの背景を勉強する

分野研究M (8単位) 特別研究M (6単位) 精密機械専攻の講義を夏冬6科目 自分の研究分野に関係の深い他専攻講義を1~2科目 なるべく午前中を選ぶ 午後は主に研究室で修論の研究

6月：(早熟のひと：秋の学会発表の申し込み)

9月：学会で発表か聴講 (同じ分野の同じ世代のひとたちは何をしているのか・・・?)

10月：来年の国際会議の申し込み (国際会議での発表申し込みは半年~1年前)

12月：来春の学会発表の申し込み

1月：修論中間発表—研究奨励賞を受賞

2月：少しだけ就職活動—サラリーマンの悲哀を感じ 若い自分に投資することを決断

3月：春の学会発表 (国内デビュー；同世代の同分野の方々と対等に渡り合う)

[2年目]

4月：2年目の履修：自分の関係に深い講義を夏学期のみ2科目程度 午前中から選ぶ

5月：海外の国際会議で発表 (初のメジャーデビューで初打席ホームラン)

6月：学会誌論文を執筆—出版までに1年以上かかる でも全世界に貴君の名が轟く

7月：博士課程進学手続き

8月：海外研究機関で1ヶ月以上研修 (さまざまな奨学金やインターンシップ)

9月：秋の学会発表 12月再び国際会議発表 (ちょっと突出しすぎかも・・・指導教員 成果による)

2月：修士論文発表・審→優秀賞をとる 成績+学会・論文発表などの業績も考慮される

3月：ちょっとだけ旅行 でもすぐに春の学会発表

[続き]

4月：短縮2年での博士学位修得をめざして研究始動 (・・・ただし4年以上かかる場合もある)

8月：あわてず海外留学1年へ 婚約 (重要かも・・・)